

# 迎春

## 年頭のごあいさつ

有田川町長 中山正隆

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに対し心より御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、5月に皇位継承により新天皇が御即位され、日本中が祝福ムードに包まれました。一方、8月に九州北部における豪雨災害・台風第15号・台風第19号の来襲など、一昨年と同様に日本各地で大きな災害にみまわれました。台風第15号では千葉県下において倒木などで長期の停電が発生し、その状況を報道等で見ながら平成30年台風第21号のときのご思い出されたところがあります。また台風第19号では東日本を中心に広大な範囲で被害が発生し多くの皆さんが被災され、未だ復興の途上にある中での年越しとなりました。被災されました皆さまには、心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。当町におきましても、近年多く発生しています風水害や近く起こると言われています地震災害に備え、皆さまの安心・安全を第一に考え、防災対策に取り組んでいかなければとの決意を新たにいたしましたところです。

元号が令和になり最初のお正月を迎えました。また本年は子年であり、また来年は十二支の一番目であり、西暦も2020年となり、新たな時代の到来を感じさせます。有田川町では合併以降、一体的な町の醸成に取り組んできたところです。今後は地域の魅力を生かしながら、さらなる飛躍を目指してまいります。町の中央を流れる有田川と自然がもたらす豊かな恵みを受け、そんな有田川町をさらに魅力ある住みよいまちとするためにまい進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

## 令和二年 新年ごあいさつ

有田川町議会議長 殿井堯

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、元号が変わり新しい「令和」の時代を迎えました。平成の世は、戦争のない平和な時代でありました。令和の時代も皆さまが安心して暮らせる平和な時代でありますよう、心から願うものであります。

さて、国内では相次ぐ大型台風の襲来や大雨による河川の氾濫など、大規模な自然災害が相次ぎました。犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。本町においては幸いにして大きな被害は発生しなかったものの、改めて災害に強いまちづくりの重要性を再認識したところであります。

地方自治体を取り巻く環境は厳しく、わが町においても今後ますます行財政運営の困難が増していくものと思われまします。そうした中にも、まして、町民の代表として皆さま方のご意思を町政に反映させるべく、議会としての役割を全力で果たしてまいりたいと思ひます。どうか、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、また、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。